

広域道路整備の基本方針

千葉市

I 地域の将来像と地域整備の課題

(1) 地域の現状と将来像

①現 状

市の人口は約86万人である。近年停滞化の傾向であるが、21世紀初頭には100万人に達すると見込まれている。産業面では、化学・鉄鋼を中心とした工業や商業・業務機能の集積が湾岸部に展開している。また、東部内陸部を中心に生産性の高い農業地域（農業粗生産額は政令指定都市中1位）を有している。

②将来像

2010年を目標とした都市づくりの基本目標を「自立し創造する都市づくり」とし、「5つの都市像」の具現をめざす。

(2) 地域整備の課題と取り組み

- | | |
|------------------|-----------------|
| ①千葉県都としての機能強化 | ⑤安全で災害に強い都市づくり |
| ②首都圏の業務核都市としての整備 | ⑥良好な市街地の形成 |
| ③市内各地の一体化の推進 | ⑦高度情報化に対応した基盤整備 |
| ④拠点整備やプロジェクトの推進 | |

II これらを支える道路整備の目標

- 県都1時間構想を支える4環状8放射の道路網の整備を図る。
- 市内の各拠点を一般道で概ね30分以内で連絡する道路網の整備を図る。

III 中長期ネットワーク計画の考え方

①交流・連携の強化

- ・県内外の交流・連携の強化を図り、千葉市の広域的な位置付けを確保できるネットワークとする。

②時間距離の短縮

- ・県土の一体化を図るため、県都1時間構想を支援する。
- ・市内各拠点間を一般道で概ね30分以内で連絡する。
- ・地区中心拠点、開発拠点から高速I.Cまで概ね15分以内で連絡する。

③交通集中の解消

- ・都心部に集中する交通の分散化を図り、混雑・渋滞の緩和を促進するネットワークとする。

④プロジェクトの支援

- ・各種プロジェクトへのアクセス性の向上が図られるネットワークを形成する。

IV 当面の重点整備区間の考え方及び抽出

- ①高規格幹線道路へのアクセスを強化する区間
- ②広域ネットワークを形成するなど路線の連続性を確保するために必要な区間
- ③都心に集中する交通を分散導入するために必要な区間
- ④主要プロジェクト拠点都市とI.Cとを結ぶ区間
- ⑤災害時等に緊急輸送路となる区間